

横浜三溪園春季茶会 第八回

主催 横浜中央茶道会

後援 横濱茶館◎横浜文化教室

協力 有隣堂・戸塚カルチャーセンター

カルチャーセンター・アグリ(上大岡)

横浜創英中学高等学校

横浜市立鶴見中学校

横浜中央茶道会海老名支部

横浜中央茶道会沼津支部

提供 花 横山フラワーセンター

菓子 馬車道松むら

懷石料理 やぶ浜

茶会記

時 平成二十八年三月二〇日(日)

於 横浜三溪園 主 内宛・外苑

従 白雲邸 小応接室 寄付(総合受付)

待合室 展観席(飾付)

談話室 懷石席(茶懷石・御酒・菓子)

一・二の間 立礼席(薄茶)

林洞庵 広間 聞香席(聞香・菓子)

四畳向切 本席(濃茶)

金毛窟 一畳台目隅炉 (濃茶)

月華殿 檜扇の間 新人席(炉薄茶) 新人御披露目

中学席(風炉薄茶)

竹の間 学生席(風炉薄茶)

蓮華院 土間待合有 茶箱席(薄茶)

奉公 横浜中央茶道会

会長 乾 信治(宗實・實道・實斎)

幹事 河野・田中・小野

野村・中野・笹原

開始 受付 十時開始 聞香席 十時十分 各席 十時三十分

懷石席 十一時

終了 受付 十四時三十分 全席 十五時終了

各席満席(芳名録予約含む)時、受付終了

ご案内

本日は、本大寄せ茶会にご参集頂きまして、誠にありがとうございます。左記に当茶会のご案内を申し上げます。ご不明な点がございましたら、総合受付あるいは各席に關しましては席受付担当にてお願い致します。

特に、会長に御用があります方は、総合受付迄おといあわご挨拶申し上げます。

金毛窟・聞香席・懐石席を除き、特に一般で言う席主を設けておりませんが、進行上、最低限に必要な会話ならびに簡単な説明(席により異なる)のみ実施しております(席により、介添役・解説役により会話する場合あり)。屋礼内容は、本茶會記載にてご参照をお願い申し上げます。

各席、芳名録方式を実施、芳名録に記名(姓名共)、茶券確認(単品券は受取)、整理券を受け取り願います。各席ご予約は各10名様迄(林洞庵六名様迄・金毛窟三名様迄)、ご予約の方は、開始時間五分前迄にお戻り願います。なお、定刻になりましたらキャンセル待ちの方をお並び順にて入室となり、予約は無効になりますのでご注意ください(別な空席ある時間に振替できる場合があります)。なお、点前者の關係者を優先しており、開会前に埋まっている時間帯があります。

白雲邸は、入口にて茶券を確認いたしますのでご用意をお願いいたします。

懐石席は、入室順(満席の場合はお並び順)、懐石券回収方式です。点心(弁当)では無く、茶懐石です。お持ちは帰りできません(菓子を除く)。

お酒は日本酒と櫻酒が振舞われ、任意お代り自由です。ご飯は、飯次が一度あります。汁は汁替有り、箸洗い(吸い物)後、最後に主菓子で締めとなります。湯が必要な方は、用意ございます、ご請求願います。食物アレルギーの方は、ご注意を願います。 ※アルコールは、お車の方・未成年者の方には提供できません。

御菓子は、本茶会主菓子を濃茶前席(聞香席)、副菓子(饅頭)として茶懐石食後に、干菓子を各薄茶席にて、それぞれ、お出し致します(但し、金毛窟での濃茶席ではお菓子の提供はございません)。

濃茶席の入室は、(流派を問わず)茶道経験者(及びその同伴者)に限ります。

※但し、点前者(或いは半東、席主)の關係者は、是非ご参加願います(その方には半東より頂き方説明いたしますのでご安心願います)。なお、作法上の消耗いたします懐紙は用意させて頂きませんが、ご自身の流派作法で頂戴頂ければ幸いです。

撮影は、点前中は点前者の關係者以外は不可。席前後では任意です(肖像権注意)、広間には、箕盆をお出しさせて頂いておりますが、全席禁煙です。なお、席内に限らず三溪園園内施設自体、禁煙です。喫煙は、園内所定の場所にてお願いいたします。荷物預り処(クローク)は、設けてございません。手荷物ならびに貴重品は、自己管理にてお願い致します。

平成28年3月20日 当日配布版

※訂正あります場合、後日にネットにて公開いたします

Copyright©2016 横浜中央茶道会 無断複製・転載を禁ずる

展観席

鬺茶具飾り

本年は、鬺茶具の飾り物です。
(鎌倉・室町の鬺茶では無く) 江戸後期から明治・大正・昭和期の
(煎茶による) 鬺茶の道具です。

野点

総合受付は、目印の意味で野点傘を屋礼いたします。
但し、雨天時(小雨中止)・強風時、野点傘中止

生け花

茶の湯の花では無く、(会員による) 華道の花による屋礼を展観
席と蓮華院待合にて飾らせて頂きます。

懐石席

茶懐石一汁一菜

飯

こしひかり 無洗米

汁

豆腐 なめこ 小葱

向付

蟹カステラ(真薯) 卵焼き 鱈西京焼き

地鶏味噌糍焼 すきの当座煮 はじかみ

海老真薯俵揚げ 小茄子 獅子唐 煮メ 杏の蜜煮

箸洗

巻湯葉 三つ葉

奉公 やぶ浜

菓子

馬車道饅頭

松むら

御茶

ほうじ茶

御酒

而妙斎御銘純米大吟醸「松の翠」超特選 山本本家

酒

而妙斎御銘純米大吟醸「松の翠」特選 山本本家

替

さくらと替酒

鉢子

古銅菊水文様 他

飾り

花見弁当箆筒 漆器 蒔絵菊草花 時代

花見弁当重箱 大正

縁高 松鶴蒔絵 江戸

徳利 久谷庄三

盃飾り 九谷庄三 農耕之図 時代

盃洗 時代窓抜遊興山水図蒔絵盃洗一對

同台 山水図蒔絵

時代

濃茶席

聞香席(広間)

掛物 軸 「和氣致祥」 河合雨峰筆

香炉 香時計 松栄堂

花入 耳付 京焼

花 季節の花

琵琶床 越前琵琶(四本弦) 時代

聞香具 桑三重香合 菊文様聞香炉 桑長盆 香七つ道具

香木 伽羅

苜盆 苜盆 狸斎好 摺漆 沙久作

煙管 如心斎好写 壺多 近谷清雲作

火入 車軸火入 惺斎好写 松栄造

菓子器 松風 短桜 明治

主菓子 「桜田楽」 松むら

桜生花飾り

香煎茶 あられ香煎

本席(小間)

掛物 軸 「雲」 黄檗山萬福寺初代隠元筆

花入 竹 稻束 宗林作

花 季節の花

香合 貝蓋大香合 栗田焼 河鍋暁斎造

釜 車軸釜 時代

水指 曲水指

茶入 古瀬戸 肩付 錠鉄造

仕覆 利休緞子

茶碗 黒 一入造 銘「養宝」

替 銘「花尽し」 楽入造

仕舞 貝化石 渡り

出帛紗 亭主好み

茶杓 銘「慶雲」前大徳須賀玄道書付 浸作

建水 銘「さくら」 桶形建水 指真突作

蓋置 竹 宗篤作 前大徳寺 宝林寺福本積慶箱書

御濃茶 銘「祥雲の昔」而妙斎好 詰 柳桜園

濃茶席（小間）

講師お披露目 田中宗和

※極侘を主題、作家・銘などは席にて会話。客拝見あり

掛物 軸「心外無別法」

花入 竹一重切

花 季節のもの

香合 大槌焼

薰物 紫野

釜 城文手取釜

炉縁 木地 三溪園所蔵

水指 木地 釣瓶

茶入 耳肩付 勝龍寺窯

仕覆 有栖川裂

茶碗 赤楽 鉄鉢型

出帛紗 亭主好み

茶杓 黒柿

茶筥 青竹

建水 面桶

蓋置 青竹

御濃茶 銘「天壇の昔」 詰 もりた園

新人席(薄茶)

掛物 軸 「無一物」大徳寺塔頭黄梅院小林太玄筆

花入 鉄釉四方手付花入

花 季節の花

香合 志野亀香合

薰物 雲井 松榮堂

釜 竹文透木釜 政光作

炉縁 花筏蒔絵 宗真作

棚 好文棚

水指 染付双竜雲滄文

茶器 吹雪 春の野蒔絵

茶碗 黒染 弘入

替 金流水扇面草花文 陶扇造

同 大樋焼 大樋長平造

仕舞 黄瀬戸 立鶴造

数茶碗 萩 鶴絵陽刻

茶杓 銘「銘無心」大徳寺塔頭龍源院細井喝堂箱書

蓋置 黄瀬戸 舞鶴

建水 備前 大脇差

水次 高台寺象眼薬缶

風炉先屏風 流水透

結界 焼杉 沙江作

蓆盆 桐木地鯨手付

煙管 口糸目煙管

火入 唐銅宝文

菓子器 銘々皿 竹紋隈折 他

菓子 六方焼

雪溪

御薄茶 銘「万世の白」 詰 浜田園

立礼席

掛物

浮彫「富士登頂十牛図」

岳泉造

花入

耳付蛇籠

花

季節の花

香炉

久谷

幸仙造

釜

牛童子四方釜

佐藤造

棚

扇面立礼卓而妙斎好写

河瀬一敬作

水指

信楽 茶巾型 鎌倉窯

小山雅山造

茶器

中叢「夜櫻」

少庵好

陽高作

茶碗

乾山十牛図

寺尾陶象造

替

十牛図題

奥村考造造

同

十牛図(全)

仕舞

騎牛婦来 繪唐津

数茶碗

「十牛図」

西尾香舟造

茶杓

源氏十二ヶ月即中斎作写「宿木」中村宗悦作

建水

苔入朱

無弔作

蓋置

繪替蓋置 花見月

乾山造

水次

唐銅薬缶 松月図

時代

銘々皿

十牛図繪替 板目

時代

干菓子

すはま団子

和三盆 桜菱形

御薄茶

銘「琵琶の白」

詰

上林

茶箱席

掛物 軸

「松風」前大徳寺福聚院佐藤朴堂筆

花入

四方網目調

花

季節の花

香合

扇絵 時代

琵琶床

越前琵琶(四本弦) 時代

釜

小四方釜 時代

風炉

土物平風炉 時代

風炉先

自然木七宝彫

茶器

稲舟螺鈿蒔絵 平棗

茶碗

志野小茶碗 時代

替

三島子茶碗 時代

同

大樋長楽小茶碗 大樋長楽造

仕舞

布目桜小茶碗 時代

数茶碗

円変小茶碗 岩蔵造

茶杓

象牙小茶杓 時代

茶釜

姫茶釜

建水

唐銅建水

蓋置

竹

洗瓶

海老に柚子染付

苜盆

八角桐

火付

ブライヤ材ZIPP O

巻苜入

大駒

振出 大

古瀬戸

干菓子

金平糖 緑寿庵清水

菓子器

銘々皿

干菓子

丸種 桜

花かすみ

御薄茶

銘「珠の白」而妙斎好 詰 柳桜園

学生席

横浜創英中学高等学校 茶道部学生運営席
※諸道具は、学校備品です

掛物 軸 「一期一会」 端峰院昌道導師筆

花入 手付置籠花入

花 季節の花

香合 稚黒香合

飾袱紗 桜

風炉 朝鮮風炉

風炉釜 真形風炉釜

棚 二重棚

水指 天意勿道

茶器 中粟 線堂造

茶碗 筒勢斗策 津輕塗

替 菖焼 寿楽造

同 林箬声 正時窯

数茶碗 古菘 黄の瀬窯

仕舞 平茶碗

茶杓 節有り 時代

建水 エフコ 唐銅

蓋置 扇蒔絵

水次 腰黒薬缶

風炉先屏風 網目

結界 木目 三角

干菓子 さわらぎ

花いかだ

御薄茶 銘「小櫻」 詰 柳桜園

中学席

横浜市立鶴見中学校校 茶華道部学生運営席

掛物

「白鶴舞老松」大徳寺五一五世藤井誠堂筆

花入

備前四方花入

花

季節の花

香合

黒柿扇面香合

薰物

沈香 日本香堂

風炉

紅鉢風炉

風炉釜

鶴首釜

水指

染付花卉文

茶器

中棗 松喰鶴蒔絵

茶碗

赤染 舞鶴

替

鼠志野

数茶碗

鶴絵陽刻萩数

仕舞

黄瀬戸 立鶴

茶杓

煤竹

建水

唐銅打出工フコ

蓋置

立鶴陽刻紫釉

水次薬罐

高台寺象眼

棚

溜塗二重棚

風炉先屏風

流水透

結界

焼杉 沙江

干菓子

三寸丸 桜

花好み

御薄茶

銘「万世の白」

詰 浜田園